令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４０３７

プロジェクト名　The Film Project Produced by Nihon University Students

プロジェクトの概要

主な目的は「１本の映画を撮ること」である。昨年２月の立案から７月頃までに、プロット・脚本・絵コンテ製作、ロケハン、演者出演交渉、脚本読み合わせ、施設使用交渉、８月から撮影を開始し、経済学部、商学部の施設や、公民館などで撮影を行った。１月頃からは、編集や映画音楽の製作を行い２月の下旬ごろついに完成した。映画は、女優になる夢を諦めた少女がある日、自分と瓜二つの少女と出会うことで、また夢を追うことの勇気を取り戻す映画だ。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトでは、映画制作の全工程を１年かけて進め、60 分を超える長編映画を完成させた。５学部 11 学科から集まった計 14 名の学生が連携し、企画立案、脚本制作、絵コンテ、ロケハン、衣装準備、演者・施設交渉、撮影、編集、音楽制作、宣伝までをすべて学生主体で行った。

制作過程では、AI や IT 技術を活用し、連絡やスケジュール管理を効率化。撮影は大学や公共施設、自宅を活用したが、年末に施設が使用不可となるアクシデントも発生。しかし、チーム全員で迅速に対応し、代替案を講じることでスケジュールを遅延させることなく遂行した。何千何万という創造と破壊を繰り返し、試行錯誤を重ねながら映画本来の目的と高いクオリティーを実現した。映像美や演出にもこだわり、照明や構図を細部まで調整し、商業作品に匹敵する映像を目指した。

完成作品「19」は、二人の千夏という少女を主人公とする物語。異なる世界線を生きる二人が互いの人生を体験し、影響を受けながら成長する。千夏は女優の夢を諦めた大学生、もう１人の千夏は夢を叶え、芸能スクールに通うも厳しさに苦悩している。二人が入れ替わることで、それぞれが自分の本当の気持ちと向き合い、夢を追うことの意味を見出していく。夢に向き合う葛藤や選択の重さをリアルに描き、見る人に強い共感を呼び起こす。

本作は東京学生映画祭をはじめ国内外の映画祭へ出品予定であり、海外向けに字幕付きバージョンも制作中。また、３月下旬には YouTube で公開し、より多くの視聴者に届ける計画だ。プロ仕様の機材と技術を駆使しながら、学生映画の枠を超えたクオリティを実現した。また、完成した映画作品と同じように、仲間と１年間、自分たちの限界に挑み続けたその絆や思い出が何よりも素晴らしい宝物になった。

活動写真





